

Mercedes-Benz
280SE/380SEL



ニューS-クラス

未来を約す技術、時代に即した経済性

今日世界的に長距離をドライブする人々のために、疲れのない、パワフルで高性能な高級乗用車が求められています。

プライベートに利用出来、ビジネスカーとして優れている車に需要が高まっています。メルセデス・ベンツはこの様な車をめざしています。

数十年も前から、より安全で公害の少ない車の需要が増大してきています。

この点、メルセデス・ベンツは先んじてこの要求を満たす車を造っています。

現在、車には今までの要求を無視することなく、さらに省エネルギーによって限られたエネルギーの供給に対処することが要求されています。このことに関する我々の解答がメルセデス・ベンツニューS-クラスです。

このニューS-クラスでは、未来を約す技術を駆使することによって、今までの十分な性能を押えることなく、性能と燃費の関係を適切に改良することができました。しかし、我々はオーナーの方々は、もっと進んだものを求めていると信じています。

省エネルギーにもかかわらず、すべての分野において、高い利用価値やその他より高い価値の不変性を証明することが、生産車でははじめて提供されたのです。

7年間に及ぶ開発作業後、この目的は特に“軽量化の技術”によって達成されたのです。

空気抵抗及び車両重量の軽減によるエネルギーの節約。

安全性、走行特性、室内装備、耐久性、修理の簡素化等を再開発して、オーナーの負担を軽減しました。

メルセデス・ベンツニューS-クラスは、プライベート及び社会の利益を同時に改良することによって、新しい傾向を定めました。

ニューS-クラスは時代を超越した技術によって、 今までよりもさらにオーナーの要求を満たしています。

ニューS-クラスはさらに大きく1歩前進させました。エネルギーと環境の要求を一貫して軽減する技術によって、プライベートの利益が高くなっているだけでなく、社会の利益も自動車技術には見られなかった傾向を実現させています。

新しい基準

省エネルギーや省資源及び環境保護という時代に、オーナーの方に対して、高性能、高い利用価値を提供しています。この様な基準によって、今までとは逆に新しい特徴が組み込まれました。それはオーナーや社会に対して同程度の効果を発揮する特徴です。

改良された安全性、運転を楽にさせる より豊富な装備、疲れさせない乗心地、パワフルにすること等によって、ドライバーや乗客は大きな利益を得ることができました。

低燃費、耐久性や価値が落ちないための対策、少なくとも簡単なメンテナンスや修理等によって経済性が改良されました。

材質や燃料の節約、腐蝕保護による材質の耐摩耗性、事故の結果を軽減する予防処置、ボディ損傷の保護、排ガスの有害成分の除去及び騒音の低減等、これらすべてによってオーナーが交通の中でうまく対処できるようになりました。

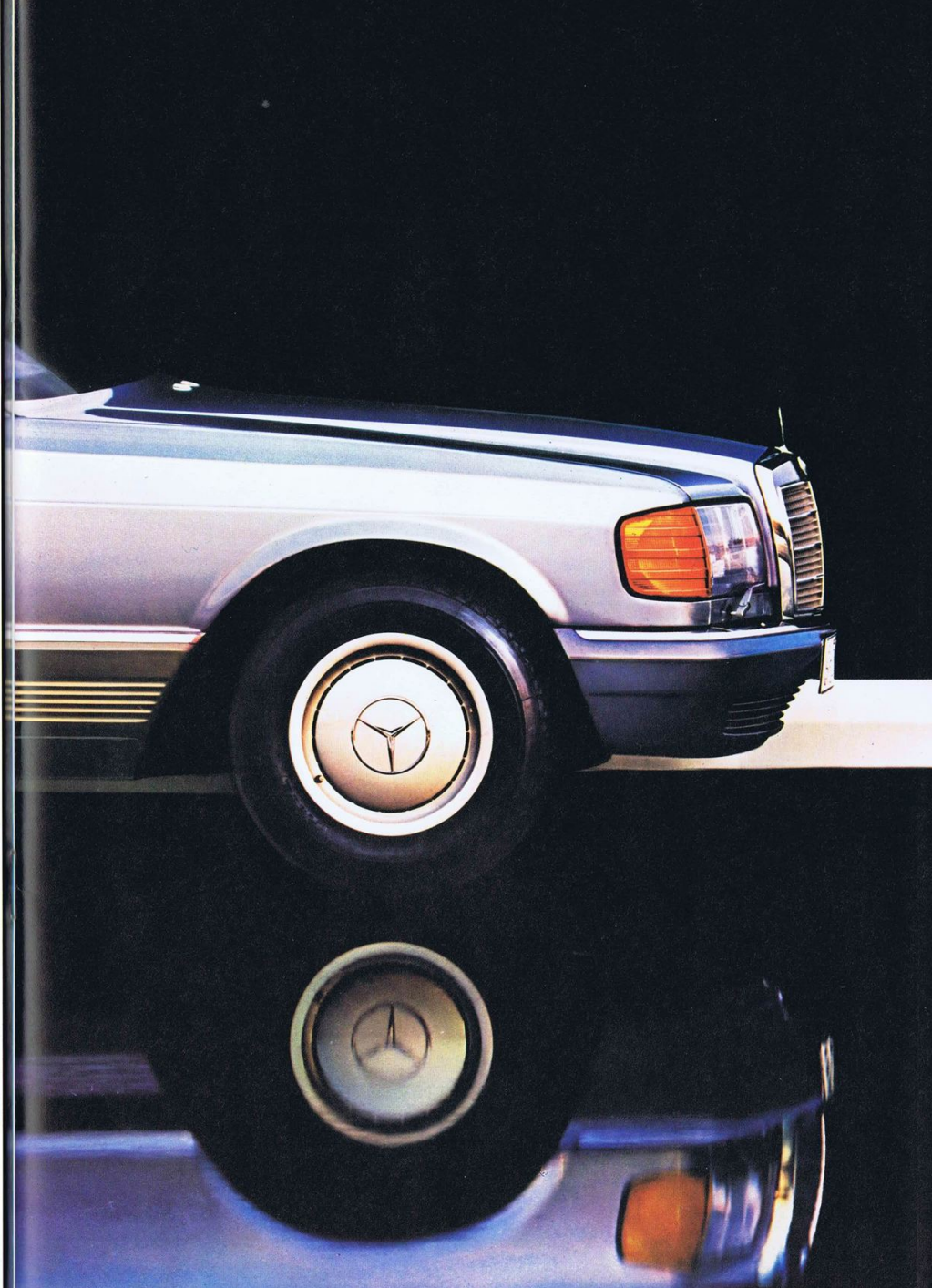
性能と節約の真のコンビネーション

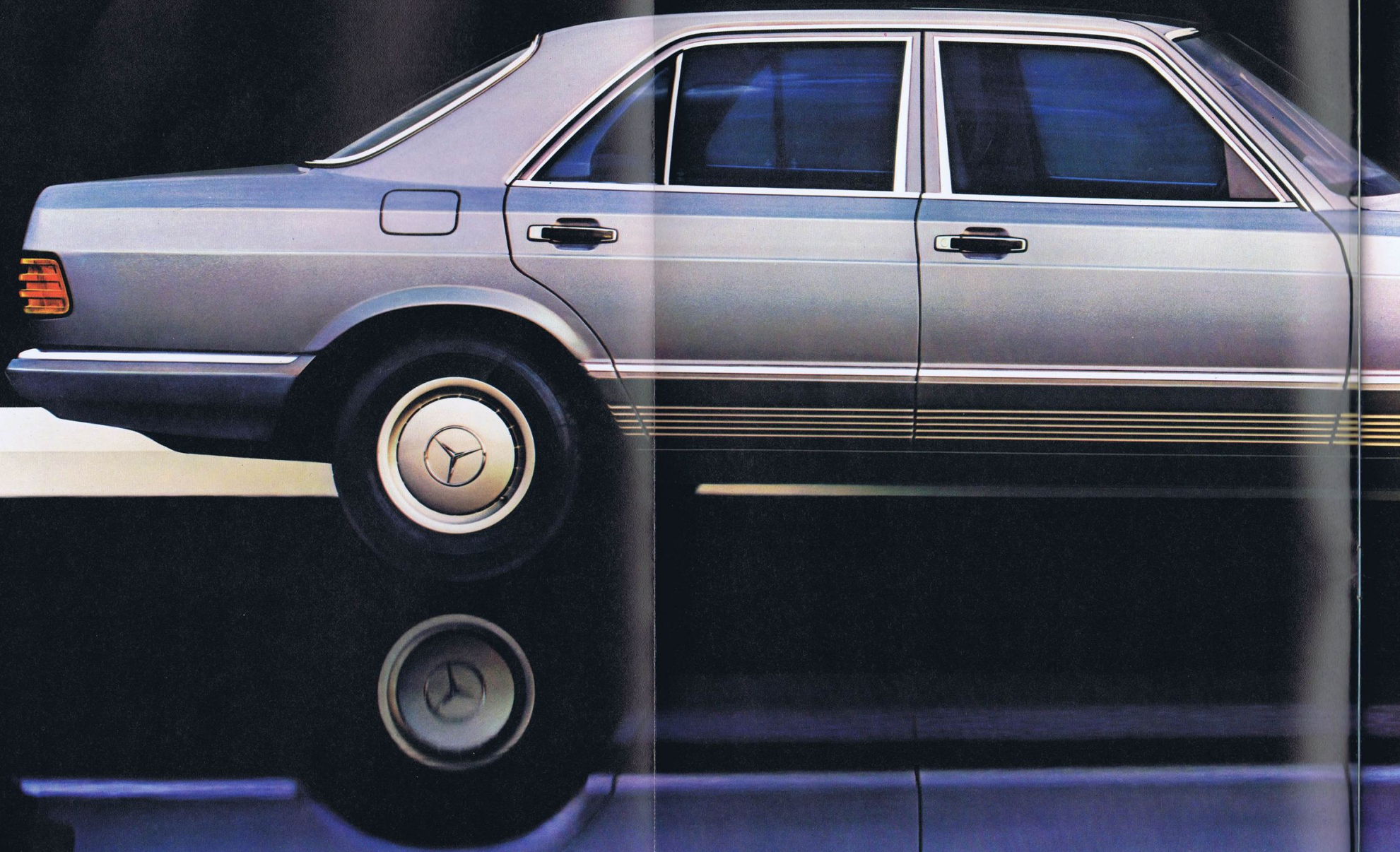
より安全に、より軽量に、より快適に、より静かに、よりメンテナンスが楽に、より耐久性をもたして、車をパワフルにしかも同時に経済的にすることが、ニューS-クラスによって、はじめて成功致しました。このことは性能と節約の真のコンビネーションであります。今まで互いに両立しなかった車のこの様なコンビネーションがニューS-クラスの特徴です。しかも、高い目標をもち、妥協を許さない準備から始まって車を完成させることが、メルセデス・ベンツ独自のエンジニアの成果でもあります。

それ故、ニューS-クラスは、80年代を超越した自動車の技術及びスタイルを提供しているのです。

ニューS-クラス

日本に輸入されるモデルは280SE、380SELです。
特に380SELは従来の450SELに代わるモデルです。





ニューS-クラスのスタイルは妥協を許さない機能性を備えています。



スッキリとスムーズなラインをもち、バランスがとれ、完成された車です。ニューS-クラスの技術的な新しい方向づけは、すでに外観のスタイルではっきりと表現されています。それは新しい技術による論理にかなったクラシックなエレガンスを持ち、大型ではなく、コンパクトであるということによって現わされています。ニューS-クラスのボデーラインは容易にドライブできるために大きな進歩として特徴づけられています。ボデーを修正するには、風洞とコンピューターがデザインの段階で広範囲に亘って使用されました。すべてのパネル、すべての曲線、すべての形状に対してあらゆる面からよく考慮された課題が投入されました。ボデーワークの中のすべてのものが明白に定議された機能として効果を発揮します。従って、ニューS-クラスのスタイルは短期間ではなく長くあきのこないスタイルに仕上がっています。

新しいアイデア

良いアイデアはより多く材質を使用することよりも、より効果があります。スタイル上で見てみると、事実、外観はすべて先行する要求に応じて造られています。例えば、全体の形状です。流れる様なスタイル、ボンネットは前方へと傾斜しています。ウインドシールドワイパーはすべて埋め込まれ、リアーはボンネットよりも持ち上がっており、云い換えれば、このエアロダイナミックスなスタイルは車の四角にまで優れた視界を得ることができ、ドライブをより安全にしています。



例えば、バンパーです。大型になっており、強度が強く柔軟性をもたせた材質で仕上げられており、ボデーの保護をより改良し、ダメージを少なくしております。その形状は空気抵抗に優れ、その他フロントアクスルにかかる揚力を少なくしています。外観上では、(このバンパーはポリウレタン製)巾広いプロテクションとして車のサイドにまで回り込んでいます。それはボデーの小さな傷を少なくし、簡単に交換することもできます。

カラフルなボデーカラー

ボデーカラーはニューS-クラスのスタイルと形状に貢献しています。30色の新しいボデーカラーの中から選択できます。20色はスタンダードで、10色はメタリックでオプションです。ボデーカラーは美しく仕立てると同時に交通の中で視認されやすくなっています。科学的調査により、すべてのボデーカラーの濃度に対する視認度が調査されました。各々のボデーカラーの安全度数値はカラーチャートに明記されています。

ニューS-クラスはできるだけコンパクトに そして必要なだけ大きくなっています。

安全で、負担が少なく、自由に動けることは車の性能及び寸法を決定づけています。ニューS-クラスは統計で平均よりも多くドライブするオーナーのために造られています。この様なオーナーは、長距離をツーリングやビジネスで多人数でドライブする機会が多く、目的地へ行く途中でエネルギーや集中力をより必要とし、疲れることは許されません。

リラックスできる室内

基本的にボデー寸法は、今までのS-クラスと同格であります。室内のスペースは事実、大きくとっています。ニューS-クラスは巾が狭くなっていますが、フロントのトレッドは巾広く、ホイールベースはより長くなっています。このため、乗心地が良くなり、しかもロードホールディングがなお一層良くなっています。

大きな室内は乗客を保護し、そしてリラックスさせています。

騒音レベルを低下させるためにあらゆる手段が施されました。

すでに、技術的及び物理的な限界にまで達していると云われるサスペンションは、さらにもう一度、再開発されました。能動的・受動的安全性に基づいて、さらに対策が施されたのです。オーナーの立場に立って、多に負担を軽減しサポートすることはオーナーのコンディションを維持するのに役立っています。

安全性、性能、操縦性、乗心地、操作性はニューS-クラスでは完全にバランスがとれています。特に、オーナーに疲労を感じさせないことを目的としたすべてのデザインが、完全にバランスされているのです。



標準装備の新しいオートマチックトランスミッション

280SE/380SELには新しく開発された4速トルクコンバーターオートマチックトランスミッションが標準装備されます。

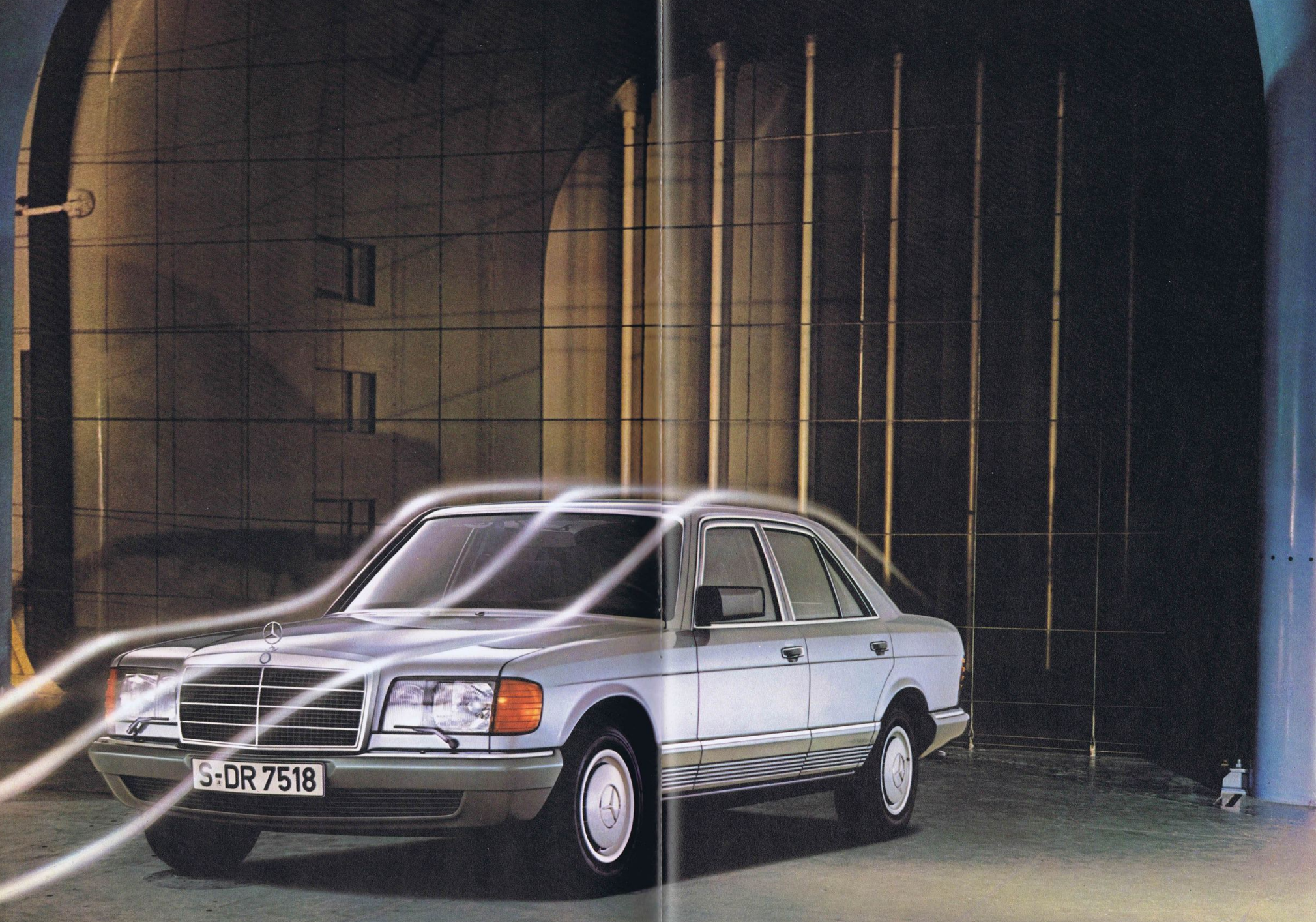
新しいスタイルに見合って、このオートマチックトランスミッションはよりコンパクトに、より軽量化されていますが、その性能は向上しています。

ギアチェンジの機能的安全性、正確性、スムーズ性等はより改良されました。

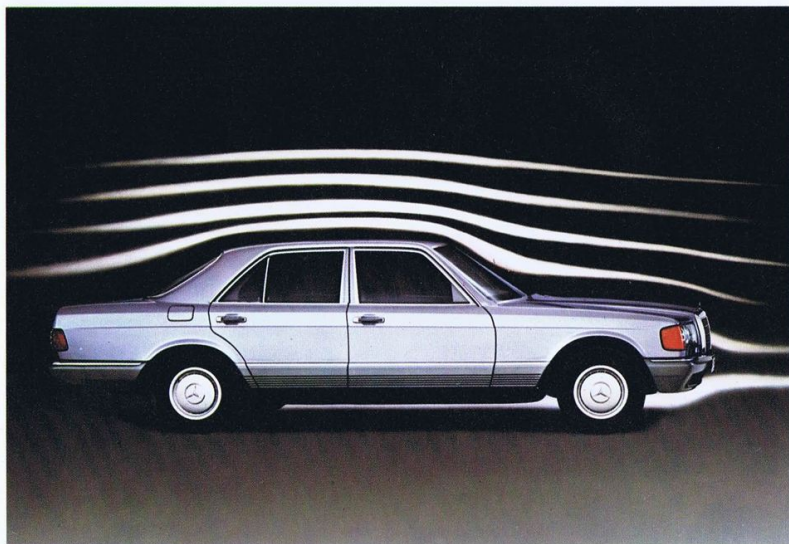
車が止まった時には、トランスミッションのギアは2速でアイドルリングします。しかし、アクセルペダルを作動すると、常に1速にもどりますので、エンジンのフルトルクが引き出され、加速が良くなります。

Dポジションでは、このオートマチックトランスミッションは、低負荷回転数でシフトアップしていきます。従ってエンジン回転数は低く保たれ、常に燃料を節約しています。





低燃費、高性能のためのボデースタイル



風洞では如何にして空気抵抗を少なくするかを学ぶことができます。何故なら、風の抵抗が少ないということはパワーが少なくして車を動かすことができ、しかも燃料を節約することができるからです。

ニューSクラスでは、空気抵抗を少なくするに当り、あらゆる可能性を追求致しました。5人が乗車するには十分なスペースを提供している乗用車は大きな室内スペースを必要としています。この大きな側面は最適な空気抵抗の特性によって、さらに修正されています。ニューSクラスの空気抵抗係数は、すでに優れた数値を得ている今までのSクラスよりもさらに14%も低くなっています。

このエアロダイナミクスなスタイルによって、すでに燃費は中速のスピードから事実、良くなっています。

空気抵抗係数(Cw値)は、今日ではたいていの生産車の場合には、0.47~0.50の間ですが、主にエアロダイナミクスな原理に基づいて特別にデザインされたメルセデス・ベンツ研究車C111はちょうど0.2になっています。

生産車が達成できる最低の限界は0.3Cwと云われています。ニューSクラスは0.36Cwという非常に低い空気抵抗係数を示しています。

揚力の低減

特に高速時には、エアーの流れは、車の下部の揚力も増えています。揚力はパワーをロスさせると共に車のロードホールディングを害しています。

メルセデス・ベンツは、クサビ型のボデーシルエット、車の下部深く取り付けられているバンパーの形状によって、この問題を解決しています。

すべての形状は丸味をおびており、流れる様なライン、よりフラットに傾斜したウインドシールド及びリアウインドウによって、より一層下へと押えつける圧力を得ています。このため、特に揚力を下の方へと押えることができました。

バンパーは、下の方へ深く回り込んでいるので車を下へと押えつける圧力をつくり、揚力をさらに少なくしています。

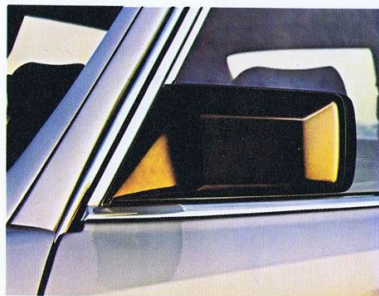
このため、走行安定性はさらに改良されています。

大きな効果を発揮する細部の研究

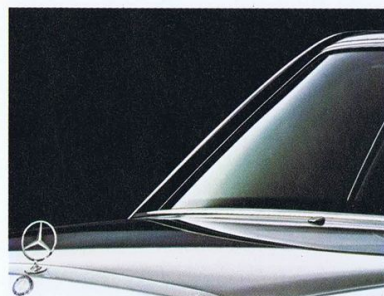
風洞実験での成果によって、最終形状が決定されています。しかも、エアロダイナミクスなスタイルはエネルギー節約につながっているばかりか、他にも長所をもたらしています。空気が渦を巻くことができないところは風切り音が少なくなっています。ほど良く囲み、埋め込まれ、カバーする構造にして、騒音レベルが下げられ、そしてさらに美的な外観をも得ているのです。

ニューSクラスの優れた魅力は、流れる様なボデーラインです。

長期に及ぶ細かい開発において、一つひとつの部分が繰り返し流れるラインに、あるいはエアロダイナミクスに改良されています。その際、各部パーツの機能はより改良されました。ウインドシールドピラーの中にサイドウインドウを汚さないモールディングが内蔵されています。レインチャンネルは埋め込まれていますので、ルーフピラーとドアフレームの間にはふくらみがありません。ボデーとバンパー間にはすきまがありません。強化プラスチック製のフラットなホイールカバー及び傾斜したウインドスクリーンは、エアロダイナミクスな効果を発揮するトータルフォームにも貢献しています。内側から調整できるアウトサイドミラーでさえ、エアロダイナミクスなスタイルにされています。



エアロダイナミクスなアウトサイドミラー



サイドウインドウを汚さないモールディング



経済的な新開発アルミV-8エンジン

ニューS-クラスはDOHC、2.8ℓエンジン(280SE)と新開発アルミ3.8ℓV-8エンジン(380SEL)から成り立っています。

特に、3.8ℓエンジンのコンセプトは高出力、低燃費、環境保護、より軽量化すること、より低音にすることで、全く新しく開発されました。

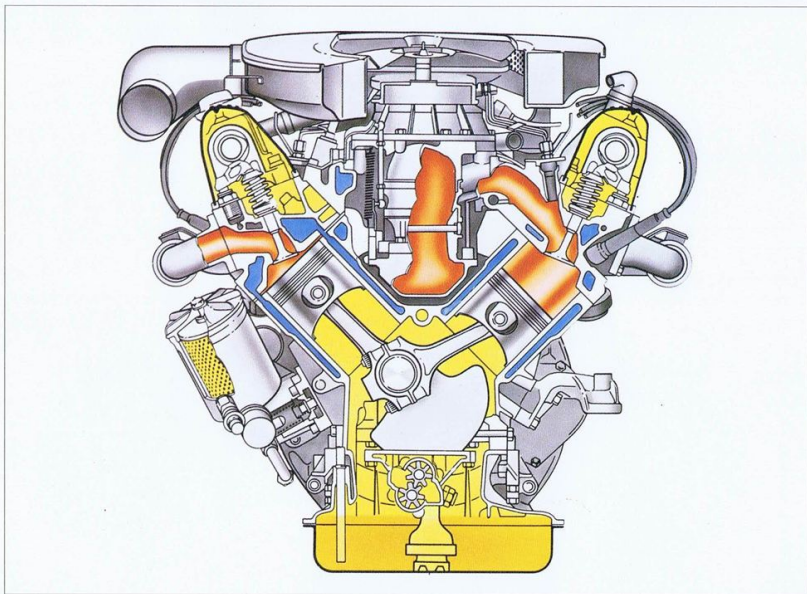
380SELには新開発アルミ3.8ℓV-8エンジンが搭載されます。

出力はDIN 160HP/4,750rpm、トルクはDIN 28.9mkp/2,750rpm。

このニューエンジンは旧4.5ℓV-8エンジンより56kgも軽量化されています。クランクシャフトの完全なバランスによって、このニューエンジンはアイドリング時、あるいはフルスロットル時にも非常に静かで、振動が少なくなっています。中回転数域でこのV-8エンジンは普段の走行に適した十分なパワーを出しています。

複雑な細工をせずに“クリーンなパワー”が得られます。このエンジンの性能特性は、常にパワーに余裕を持たせて経済的なドライブスタイルを得られる様に仕上げられています。

380SELのエンジンは、長距離をドライブするには、安全性と高性能に余裕を持ち、十分なパワーを備えています。



新開発3.8ℓアルミV-8エンジン。

アルミエンジン

エンジン製造においてアルミニウムを使用することは新しいことではありませんが、この様にアルミニウムの材質を広範囲に使用することはめずらしいことです。

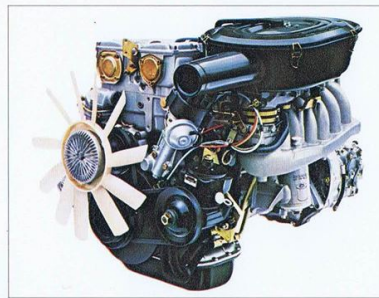
優れた点として、重量を軽減できるばかりでなく、変わらない性能と耐久性の必要条件である優れた熱特性をも示しています。

このエンジンの重要な特徴はスチール製のシリンダーライナーを使っていないことです。ピストンリングはアルミニウムのシリンダー壁と直接接触しています。

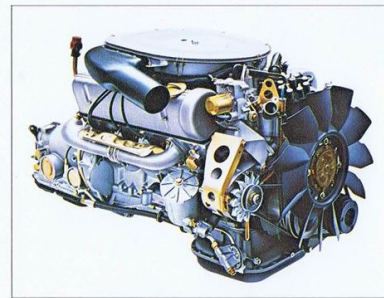
このアルミニウムにはシリコン結晶が含まれています。しかも、シリンダー表面はホーニングされた後、電気的処理によって、表面にシリコン結晶が残されます。ピストンはこのシリコン結晶によって、より安全に動き、耐摩耗性が強くなっています。

メルセデス・ベンツは生産車の車造りにこの技術を広範囲に適用しています。

軽量化や0.36という非常に低い空気抵抗係数により、ニューS-クラスではかなり燃費を節約することができました。



DOHC、2.8ℓエンジン



新開発3.8ℓアルミV-8エンジン





安全と優れた乗心地のための設計

オーナーの疲れを軽減し、安全なロードコンディションに対応するために精神を集中させるという努力は価値があると思われます。そして、すべてのメルセデス・ベンツのオーナーは他のオーナーよりも、より多くドライブされるので、その効果も大きくなっています。オーナーの疲れを軽減させ、リラックスさせることは路上の他の人々に対しても直接貢献することになります。ストレスから解放させられたオーナーは他の人々も疲れさせません。

快適なシートポジションはすばらしいドライビングを提供します。

精神を集中させたドライビングは硬めですが、しかし窮屈でないシートによって得られます。フロントシートのシート表面とバックレスト形状は、身体を確実にホールドします。ヘッドレストは厚くパッドされていますが、衝撃力を吸収します。ドライバーズシートはより大きく前後調整できる様になり、しかも高低調整は標準装備されています。バックレストの調整用ハンドホイールは手の届きやすい位置にあります。

リアシートも医学的に設計がなされています。しかも足の長いリアシートの乗客でさえも十分なスペースが得られます。リアシートの乗客は、フロントシートの裏側が特別な形状になっているため、十分なフットスペースが得られます。

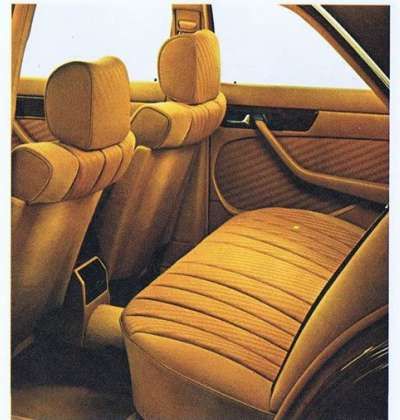
特に380SELの場合には、280SEよりフットスペースを14cm広くとっています。

徹底的に追求された高品質なシート

シートは長距離ドライブにも、乗心地の良い柔らかさ、そして振動を伝えない程度の硬さを持っています。シートは硬いスチールスプリングコアから純毛と馬の毛の層、深い溝が切られたシートカバーに致るまで、手で組み立てられます。

高品質なウールをシートカバーに使用することにより“シートを呼吸”させ、身体の湿気を取り除いています。

280SEのシートは布が標準装備されていますが、380SELでは、高級ベロアのシートが標準装備されます。



十分なフットスペース

乗心地の新しい基準

メルセデス・ベンツの乗心地は快適性以上のものです。

それは、安全性の観点に立って室内スペース、室内のデザイン、視界、騒音、振動について考慮しているからです。そしてドライバーと乗客の身体と精神に負担がかからなくなっています。乗心地は乗車時に始まり、大きくドアを開くことによって、より快適になります。ドアに取り付けられたサイドプロテクターは乗降時にはドアシールをきれいに保てる様にデザインされています。

静かさは落ち着きをもたらします。

ドアシールを2重に密閉することによって、室内をドライブ音や交通音を遮蔽し、吸収するために多くの対策が施されています。例えばエンジンと乗客コンパートメント間に新たに設けられたパテションウォールです。スピードメーターでさえも電気式になっており、騒音を低めています。

最高速時でさえも、室内で普通の会話ができる様な騒音レベルになっています。

豊富な装備

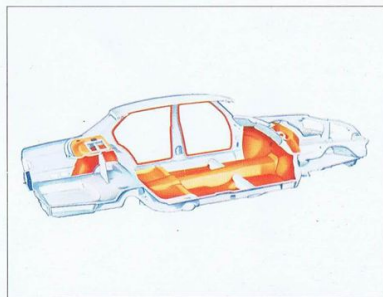
ニューSクラスは国際的な高級車にふさわしい豊富な装備を備えています。

例えば、パッドを施した左右の大型のサンバイザーに加えて、第三の小型のサンバイザーが取り付けられました。このサンバイザーはルームミラーの後側の中央に位置しており、日が沈む際等には防眩の効果を発揮します。

8種類の新しい内装カラーが用意されました。そのうち6色はダッシュボードで、3色はルーファイニング（プラスチック）用です。

この様なカラーの好ましいコンビネーションによって穏やかでリラックスできる雰囲気をつくっています。

夜、車から降りた時には、ドアの端に取り付けられたリフレクターは後ろの交通に対してドアが開いていることを知らせます。又、ドアの下側に取り付けられたコーティシーライトはドア下の路面を照らします。



騒音レベルを低減する新しい遮音対策



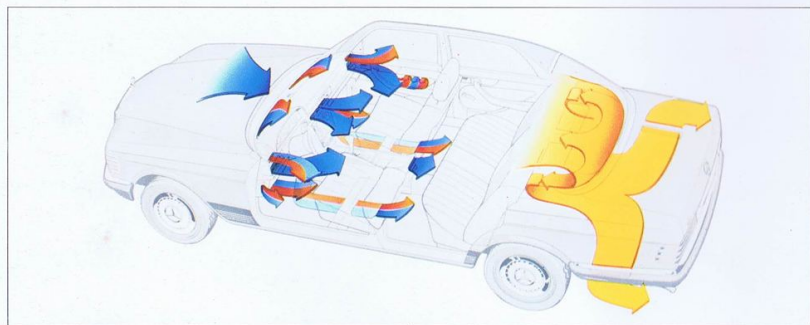
好みに合わせた温度自動調整

室内の温度は室内のコンディショニングに対して最も重要になっています。優れたメルセデス・ベンツの冷暖房とベンチレーションシステムは、この問題に対して解答を与えています。

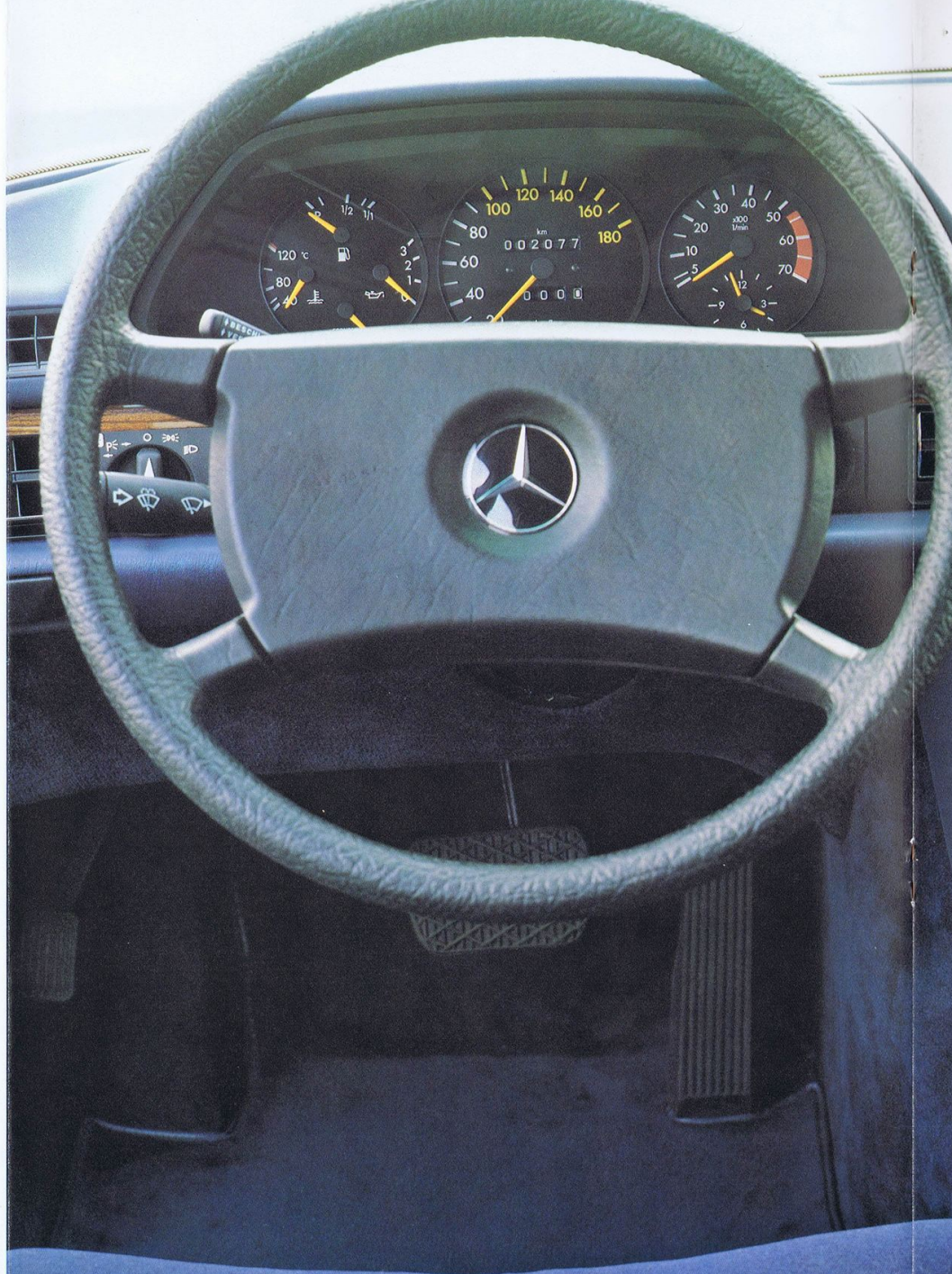
ニューS-クラスにはオートマチッククライメートコントロールが標準装備されます。
+2℃から+25℃間のセッティング範囲内で、電子式温度制御器によって、全く自動的に一定の温度を保持し、快適なコンディショニングを造っています。

論理的に配置されたエアインレットは常に十分な温風とフレッシュエアーを供給しています。リアの乗客も又、独自に冷暖房の調整ができます。

室内の換気をコンスタントに保つため、汚れたエアは、リアシェルフの排出口からトランクルームのサイドライニング下の通路を通り、リアフェンダーのバンパー裏側にある排出口に導びかれます。リアフェンダーの排出口のところは、低圧になっており、不快な空気を排出する作用をしています。しかも、この排出口には逆流防止のフラップが取り付けられており、排気ガスが外部から室内に侵入しない様になっています。



新しいベンチレーションシステム





負担を軽減する豊富なシステム

ニューSクラスでは、オーナーは非常に操作が簡単です。そして負担がかからないので、いかなるコンディションのもとでも的確に車をコントロールすることができます。

疲れをなくするというまずは第一に優れた視界から始まります。大きなウィンドウは車全体にわたって優れた視界をもたらします。事実、ルーフィラーが頑丈で細いので、視界を損なうことはなく、ドライバーはすべてをよく見ることができ、他の交通に対してもよく対処することができます。

長いワイパーブレードは77.2%もウィンドシールドを拭き払い、従来よりも4.2%改良されました。

光量の強いヘッドライトは、対向車に対する防眩を改良しています。

リアーの視界も又、さらに改良されました。ドライバー側のアウトサイドミラーは室内から調整できます。しかも助手席側のアウトサイドミラーは電動式に調整が可能です。

計器や操作類は的確な位置に配置されており、まちがわずにコントロールできます。昼夜にかかわらず、計器類は見易くなっています。すべての操作類はすぐに慣れる様にアレンジされているためにまちがうことはありません。

実際に、ステアリングコラムに取り付けられたコンビネーションスイッチを例にとってみると、方向指示灯、パッシングライト、ディマースイッチ、ワイパー（3スピード）の機能を果たします。さらにヘッドライトのスイッチはまちがわれない様に独立して配置されています。新しいタイプのパーキングブレーキのリリースハンドルが取り付けられ、グローブコンパートメントのロックはドライバーの扱い易い位置に配置されました。

運転を容易にし、省資源につながる2つの実践的な装置が取り付けられました。

その一つがクルーズコントロール（テンポマット）です。

ドライバーがキャンセルかブレーキングするまでスピードをコンスタントに保つことができます。又、最も優れた燃費で走ることができる様にチェックできるエコノメーターが取り付けられました。

すべてのインフォメーション

ニューSクラスの計器類はドライバーの必要なすべての知識を提供し、コントロールさせ、安全にリラックスさせます。

必要としないと思われる計器類は故意に取り除かれています。何故なら、それはドライバーに知らせるよりも混乱させるからです。

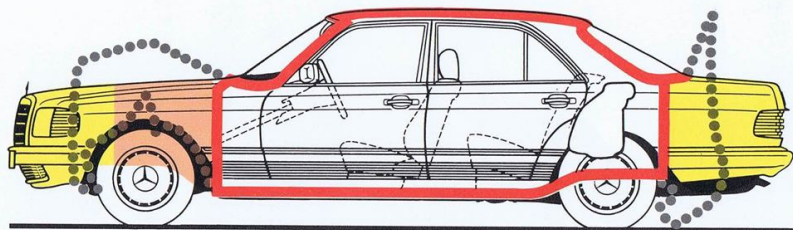
第3の安全性

乗客や他の交通利用者に対する安全性の対策として、第三の安全対策を用意しています。盗難防止のため、のこぎり形状の溝をもつ新しいタイプのキーロックシステムがあります。ドアの中にロックピンを埋めこみ、その他公言するには差しつかえる警備対策がなされています。

しかも、セントラルロックシステムがニューSクラスには標準装備されています。二重の圧力システムからなり、非常にシンプルで信頼性の高いものです。



ニューS-クラスのセーフティシステムは貴方と他の人たちをより安全に守ります。



ドライバーを事故から守ります。予想しがたい状況においてもドライバーを如何なる小さなあやまちからも救っています。事故が起きた時の乗客の保護。これがメルセデス・ベンツがもつ能動的・受動的安全性の機能です。

優れた運転特性は能動的安全性の主な要素です。正確な直進性、コーナリング時でのニュートラルな走行特性、軽くて正確なステアリング、反応の良いエンジン、タイヤと路面とのコンタクトを正確に伝えるサスペンションシステム。路面接地の限界に達した時でも、急激にコースからはずれることがなく、だんだんとドリフトが始まり、従ってドライバーは早い時期にそれを知ることができます。

連続的なハードブレーキングにおいても、ブレーキはフェードしにくく、そして力強くつかみ、ロックをしません。

綿密にバランスがとれたこの様な特性はニューS-クラスの特徴となっています。

すべてが保護されています。

受動的安全性はさらに開発され、より効果的なシステムとして挿入されています。フロントの衝撃吸収ゾーンは長くされ、縦及び横のフレームメンバーは配置変えられ、リアーエンドまで伸ばされています。

これらすべてのものが事故の安全性を改良致しました。

フロントセクションの保護は3段階で、衝撃を吸収致します。(図参照)

1. 最初のゾーンは容易に変形します。これは他の車と軽くぶつかった場合に、過度にひどいダメージから守ります。
2. 第2のゾーンはエンジンの場所にあり、容易に変形致しません。
3. 第3のゾーンは乗客のセーフティセルで剛性を高く上げています。

これらの成果は、数多くの衝突テストと綿密な計算によって仕上げられています。ルーフのフロント部と一体化されたルーフピラーは転倒時の剛性を高めています。フロントとサイド部は特に剛性を上げています。ルーフピラー、ドアフレーム、ドア、ヒンジ、ロック等はサイドからの衝撃の殻を形成しており、サイドの衝突時には、ドアが侵入してくるのを防いでいます。

ガソリタンクはリアーアクスル上の安全に保護された部分にしっかりと取り付けられ、乗客のシートの間にはバルクヘッド(防護壁)が設けられています。

乗客の保護

例えば、セーフティステアリングと新設計のベルトシステムがあります。衝撃吸収式のステアリングとその下の衝撃アブソーバーにより、事故時に予想されるドライバーにかかる衝撃を軽減しています。前方からのステアリングにかかる衝撃に対してはコルゲートタイプのステアリングコラムが縦方向にも横方向にも衝撃を吸収します。フロントシート用の3点式イナーシャリールセーフティベルトは乗客の身体に応じて3段階に高さを調整できます(図参照)。下側のアンカーポイントはシートに取り付けられているため、常に正しい位置にベルトをかけることができます。

歩行者や自転車を傷害から守ります。

ニューS-クラスはより優れた視界と視認性を備えています。

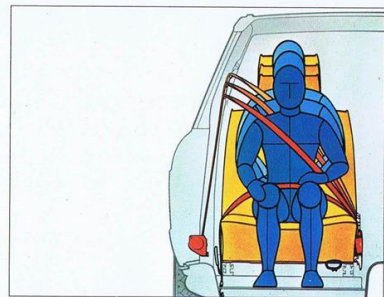
ワイパーはウインドシールドを大きな範囲で拭き払います(77.2%)。レインチャンネルの働きにより、雨や汚れてサイドウインドウを汚しません。大型でよく見えるテールライトは凹凸形状になっているので汚れにくくなっています。フロントとリアーの大型バンパーはフレキシブルなブラケットに取り付けられ、ポリウレタン製で衝撃を吸収します。広いバンパーは衝突時の傷害を少なくしています。しかもフレキシブルであり、小さな衝撃に対しては元の形状にもどることができます。

ウインドシールドのワイパーは完全に埋め込まれており、歩行者や自転車を傷害から守ります。

この様にニューS-クラスの安全性はさらに進歩しています。

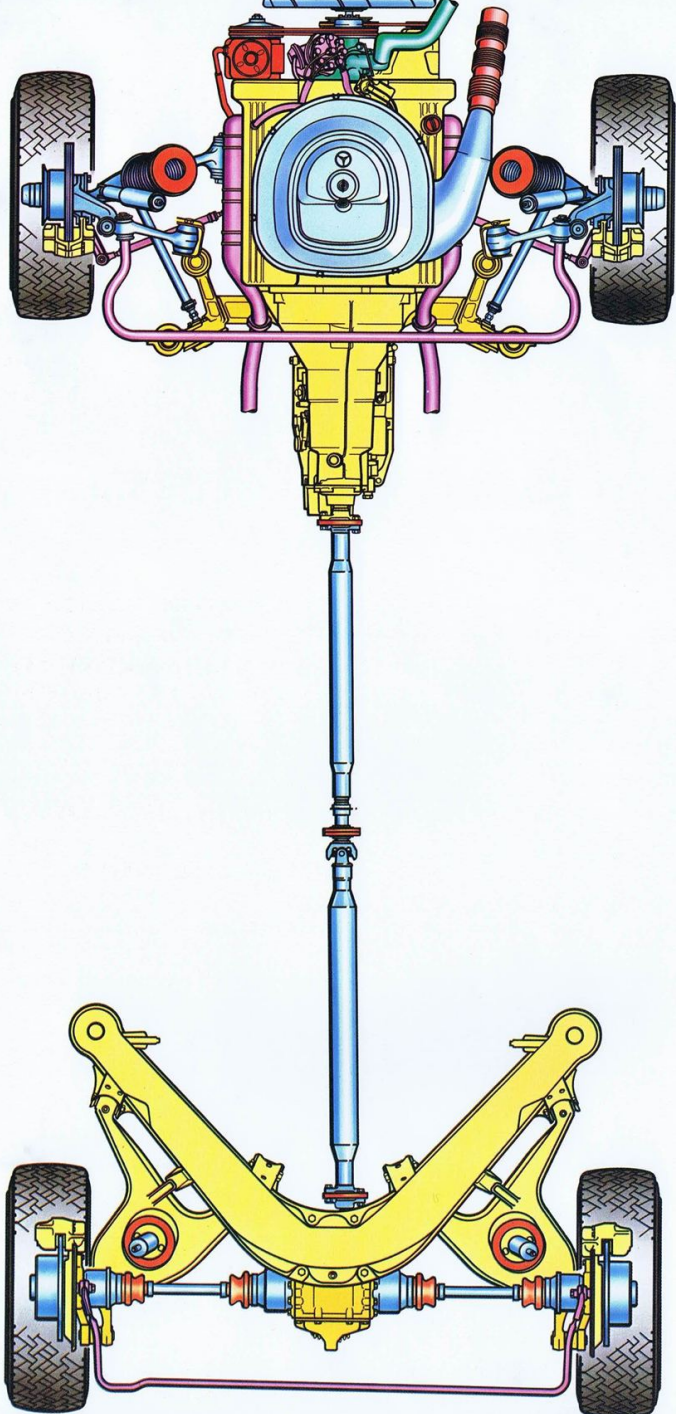


数多くの衝突実験



3段階に調節できるフロントシートベルト





乗心地は車の安全を造り、安全性はより優れた乗心地を造ります。

S-クラスのサスペンションはすでに完全な域に達しており、さらに改良することは難しいことです。従って、ニューS-クラスに対し、2つの大きな問題についてメルセデス・ベンツの技術者はさらに研究改良を加えました。それはホイールサスペンションとその配置、そして騒音レベルと振動を下げることです。

フロントサスペンションのコイルスプリングの直径を大きくし、シャーシとボデー間のマウンティングをうまく調整し、そしてウイッシュボーンとトーションバーのシステムを改良することによって、この2つの問題を解決しました。

巾広いトレッド、ロングホイールベース、ゼロオフセットステアリング、すべてのサスペンション、ダンパー、ホイールの配置というこの様な調和は普通的手段では改良しえないまでの乗心地を獲得しているのです。

さらに改良されたステアリング、ブレーキ

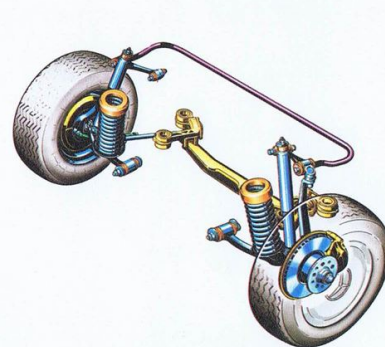
特に正確なパワーステアリングがニューS-クラスに標準装備されています。このパワーステアリングは如何なるスピード時でも優れた路面感覚を伝えますので、操縦が容易です。

2系統式のパワー4輪ディスクブレーキシステムも又、さらに高性能に改良されています。フロントのディスクブレーキパッドは30%の耐摩耗性を増しています。ホイールはベンチレーションリングを持っており、放熱性に優れています。

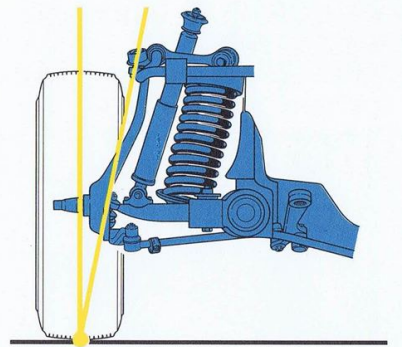
騒音と振動の除去

絶縁の材質によって、騒音を除去させるよりも、騒音や振動の元を除去する方が優れているのです。

プロペラシャフト、トーションバー、アクスル、その他の部分を設計上、改良することによって、騒音や振動のレベルが再び徹底的に低減されました。

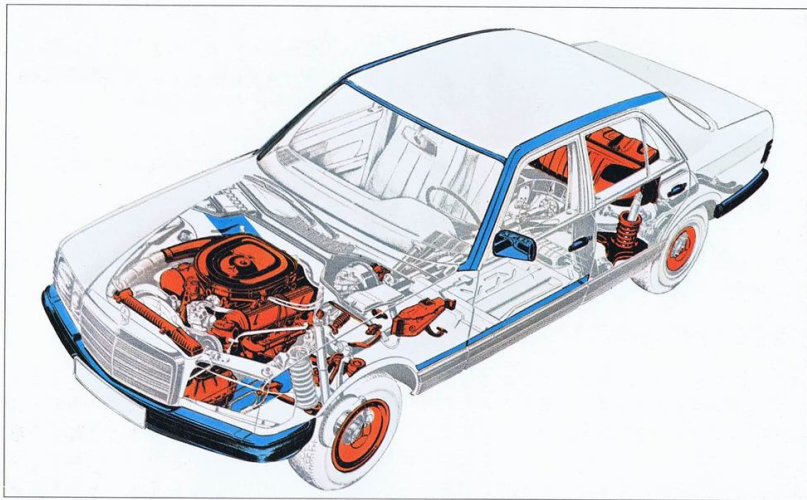


改良されたフロントアクスル



ゼロオフセットステアリング

ニューS-クラスはより軽量、頑丈、安全でそしてより経済的
です。



メルセデス・ベンツは、エネルギーの節約をするために、車の剛性、安全性、ドライバーの負担を軽減するシステムを無視することはできません。
数々のコンピューター処理、ベンチテスト、ロードテストによって、新しい材質と新しい技術の調和が成し遂げられたので、ニューS-クラスは重量軽減され、剛性と安全性を高めました。ニューS-クラス280SEでは、従来のもより80kg、380SELでは150kg重量軽減されています。軽量なので車を動かすのに燃料が少なくて済みます。

新しい傾向

メルセデス・ベンツは、より高品質に、より安全に、高重量車の快適性を、そして燃費を改良することにより、見た目では変更しえない概念をくつがえし、車造りの新しい傾向を示唆することに成功しました。

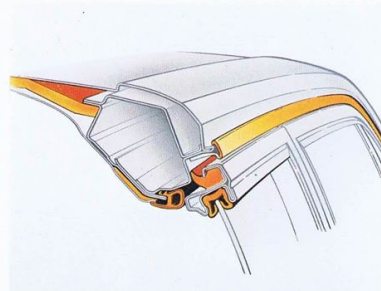
この新しい傾向は、新しい4つの基本材質のコンビネーションによって可能となりました。それは標準のスチール、剛性の高いスチール、軽合金、プラスチックです。これらは今まで何度か使用されていますが、ニューS-クラスにおいては、広範囲に使用しています。

正しい材質

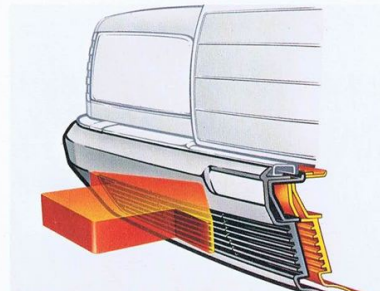
個々の部品の最良の材質は正密な計算によってのみ決定することができます。標準のスチールは主に安全性に関係する部品に依然として使用されています。しかし、その形は強度によって大きく影響されています。
スチールのルーフィングはニューS-クラスでは小さな断面を形づくっていますが、完全に溶接され、剛性が高くなっています。スチールパネルは頑丈に造り、重量を増すこともなく、高い剛性を得ています。
高い剛性をもたせたシートスチールは、普通のスチールより強く、より薄く使用できるので、材質の節約と重量軽減を果たすことができます。それはフロアとボデーパネルに使用されています。

エネルギー節約の技術

重量やエネルギーの節約は、他の面でもより高度な技術的な努力が払われています。ニューS-クラスのバンパーは弾力性のあるポリウレタン製、サイドを保護するモールディングもポリウレタン製、エアロダイナミクスなホイールカバーは強化プラスチック製で、空気抵抗、重量、そしてその機能性において、すぐれた特徴をもたらしています。しかし、一方、製造方法はより複雑になっています。同じことがアルミニウムを使用する際にも当てはまります。
それは380SELのアルミV-8エンジンばかりでなく、トランスミッションのハウジング、バルクヘッド(防護壁)、パティション、リアシートシートフレーム、強化された数々のメンバー、サイドブレーキの足踏み式ペダル及びアウトサイドミラーのフレーム等です。



特殊形状で剛性の高いシートスチールを使用



4 km/hのスピードの衝撃に耐えるバンパー

MBの品質は完全な機能性と信頼性にあります。



車のすべての技術的な特性がすべてバランスがとれていることは、ニューSクラスにおいて最も重要な品質の特徴です。

弱いブレーキをもち、パワフルなエンジンをもっていることは長続きするという印象を受けません。あまりにもソフトなシートはあまりにもハードなサスペンションによって埋め合わせることはできません。すべての要素をお互いに精密に調整させることによって、はじめてドライバーをリラックスさせ、安全な走行感覚が決定づけられます。

メルセデス・ベンツの先例のないバランスの良さに対する必要条件是設計、材質、加工の品質です。完成された車を後程、検査することによって、品質というものは達成することができません。品質は単なる標語ではなく、パーツやユニットに対する正しい基本的な概念で始まります。品質は製作において保ち続けられ、そして厳しいテストにおいて、その価値を証明されなければなりません。

材質の寸法やテストは、車の品質にとっては必要なもので、常に継続的に点検されなければなりません。

このようなメルセデス・ベンツの研究方法によってメルセデス・ベンツの信頼性が生まれます。

例えばその耐久性です。

ニューSクラスによって、耐久性がさらに高められ、又、価値の不変性がさらに高められました。例えば、新たに加えられた腐蝕保護です。アルミニウムやプラスチックのパーツは錆びません。強度を必要とする場所には亜鉛塗装が施されています。

手の届かない箇所は、粘着性に優れた新しいワックスで被っています。

フロントホイールアーチには塩や飛石によるダメージを保護するプラスチックライナーが取り付けられています。

飛石によるダメージを受け易いフロントセクションには、保護塗装が施されています。

ニューSクラスでは、フロア下側は軽量ですが、しかし、非常に耐久性のある材質で保護されています。

サービスも安全性と価値の不変性を意味しています。

メルセデス・ベンツニューSクラスはメンテナンスが容易で、しかもサービスインターバルは長く、修理代が節約できます。

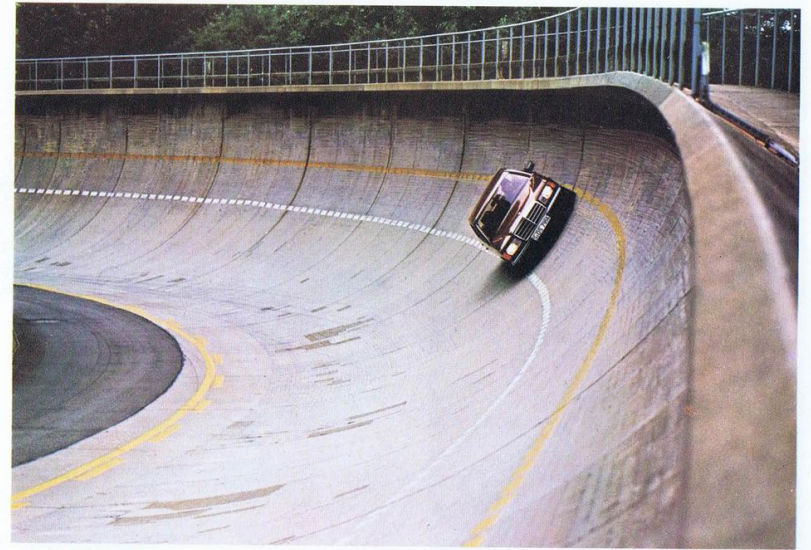
例えばバッテリー、ブレーキマスターシリンダー、リレーやヒューズはエンジンルーム内の仕切られたコンパートメントに納められています。

オイルフィルター、バルブ、ブレーキブースター、クーラー、そしてホース類は特に手が届き易く、簡単に取りはずせます。

個々に修理ができ、費用が節約できます。特にそれはフロント部分で、フロントのフェンダーはボルト締めされています。ルーフにある縦形の溝は、再塗装の手間を省いています。

熟練したエンジニアやオリジナルパーツの供給によって、高度なサービスを保証し、全世界でのメルセデス・ベンツの価値を保証しています。

7年間の開発と90余年の経験



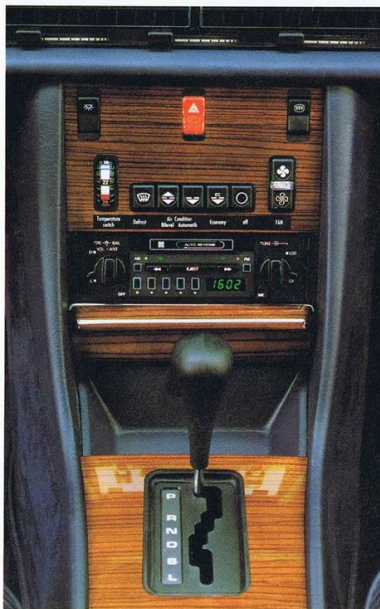
ニューS-クラスは生産ラインから初めて出て行く前にはすでに完成されています。何故なら、その前にニューS-クラスはパイロットプロダクションライン（仮生産ライン）ですでにテストされているからです。この点、車の組み立ては、仕事を完全にマスターするまで、すべてのパーツが適合するまで実践に沿ってテストされます。その時、はじめて最終的に本生産に移されます。

実践において、ニューS-クラスに受け入れられるすべてのものは90余年の経験に基づいています。7年間の開発期間、数々の試作やテスト。繰り返して行なわれる各部の試験。

ニューS-クラスでは、実走行では考えられない程の条件の元で、300万km以上に及ぶテストが行なわれました。冷凍室において、エンジンや他のパーツは-40℃にまで耐え、そして問題なく可動致しました。同様に、熱帯地域の温度においても実証されました。

又、ベンチテストによっても耐久性を完璧に追求しています。人間の限界を越えるこの様な過酷なテストは機械によって行なわれているのです。

ニューS-クラスの装備品



↑ クルーズコントロール及びコンビネーションスイッチ。

← 4速トルコンオートマチックトランスミッション、オートマチッククライメートコントロール、デジタル式AM/FMカセットステレオラジオ、パワーウィンドウ。

標準装備品

ニューS-クラスのセンターコンソールには、重要な標準装備品の操作スイッチ類がわかり易くセットされています。

このセンターコンソールにはオートマチッククライメートコントロールの操作類、デジタル式AM/FMカセットステレオラジオ、パワーウィンドウのスイッチが組み込まれています。クルーズコントロール(テンポマツ)は新しいオートマチックトランスミッションとのコンビネーションで一度セットしたスピードを正確に維持し、ドライブが楽になっています。ニューセントラルロックシステムは、ドライバーズドアをロックすることによってすべてのドア、トランク、タンクキャップがロックされます。

シートは280SEでは布が標準装備されますが、380SELでは高級ベロアが標準装備されます。380SELでは、リアシートは電動式に調整できます。リアドア内側に取り付けられたスイッチによって、いろいろな角度に調整ができ、リラックスできます。

特別装備品

メルセデス・ベンツのドライバーの個々の要求にできるだけ応じるために、特別装備品を用意しています。ニューS-クラスでは、すべての特別装備品の取り付けは、設計段階ですでに考慮され、準備されています。

このような特別装備品は後程、装着されても、少しも異和感がなく、品質と機能性における要求を満たしているのです。

- アルミホイール
- オーソペディックシート
- シートヒーター
- ヘッドライトワイパー/ウオッシャーシステム

いいものだけを世界から

Mercedes-Benz



good new days

人間的に美しいクルマを
ヤナセ

総輸入元
ウエスタン自動車株式会社
東京都港区芝浦一丁目4番4号405
電話 東京 (03) 4532-1471 (代)